

取組状況のフォローアップ

(渚滑川ほか)

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

・重要水防箇所の見直しを実施

・重要水防箇所の共同点検を実施

最新の重要水防箇所調書は網走開発建設部HPで公表しています。
<https://www.hkd.mlit.go.jp/ab/tisui/v6dkjr0000002r5m.html>

尚、市町村ごとに重要水防箇所図と重要水防箇所調書を別途、メールで配布します。

トップページ | 治水課 > 重要水防箇所について

重要水防箇所について

ページ目次

▼ 重要水防箇所について ▼ お問い合わせ



■効率的・効果的な排水活動のための取組

・災害対策用機械の操作訓練を実施



■水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- ・市町村向け研修会を実施、防災学習の実施を支援。

○感染症対策を踏まえた災害対応研修会の実施(紋別市) ○防災学習に関する資料提供(紋別生涯学習センター)



近年、全国各地で大規模な災害が発生！



■水防活動体制の強化

- ・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ、水防活動の補助者となる水防団員(消防団員)の募集を行った。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施する

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

・洪水氾濫を未然に防ぐ対策

○藻鱈川 掘削・伐採工事



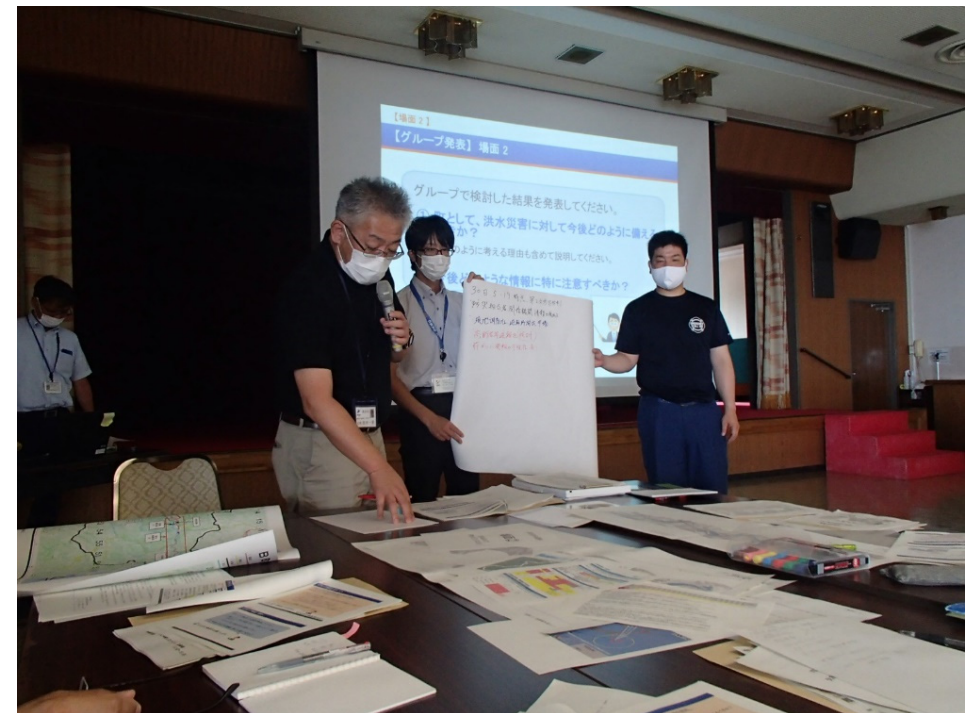
○シュウトルマップ川 掘削工事



⇒R4年度以降も引き続き
実施する

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 防災対応力の向上のために、防災担当の方々が地元気象台から発表される各種防災気象情報を適切に理解し、それに基づく適切なタイミングでの防災体制の強化や避難に関する判断のポイントを学んでいただくことを目指した、気象防災ワークショップを開催しました。



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施します

■ 水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- 1 日防災学校の実施に協力しました
(紋別市) 潮見中
(雄武町) 雄武小



⇒R4年度以降も引き続き、継続実施します

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・ 計画的に各種訓練等を実施して練度の維持・向上を図るとともに、定期的に非常呼集訓練を実施して即動態勢を点検



災害用ドローンを使用した訓練



訓練における救命具の準備



災害等に対する即動態勢を保持

引き続き**計画的に訓練を実施**するとともに、**即動態勢を保持**

■効率的・効果的な排水活動のための取組

- ・ 各結節を捉えた各種器材の整備（機能点検）・取扱い教育を実施して災害等の事態に万全を期すとともに、気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育



人命救助システム（車両積載時）



人命救助システム内容品（抜粋）



取扱要領を各隊員に教育

引き続き**各結節において整備（機能点検）・取扱い教育を実施**するとともに、**気象・天候に基づいた災害見積等を各隊員に教育**

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○ 北見方面本部

災害用ドローン操縦訓練



○ 北見方面本部、紋別警察署

網走地方気象台と連携した教養セミナーの開催

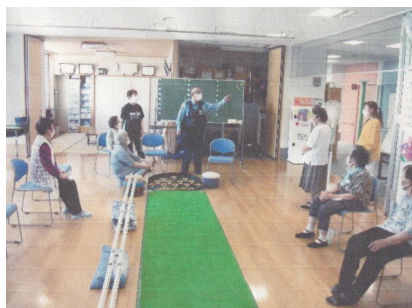


北見方面本部



紋別警察署

○ 紋別警察署



ミニ広報紙や各種講話を
通じて防災意識を啓発

(その他)

- ・ 常呂川下流地区水害タイムライン検討会に参加した。
(北見方面本部)
- ・ 大雨、河川の水位、天候の見通し等について、関係
機関と情報共有を図った。
(北見方面本部、紋別警察署)

⇒R4年度以降も引き続き、継続して実施する

■大項目:迅速かつ確実な避難行動のための取組

○中項目:洪水に対してリスクの高い箇所と、避難場所・避難経路の把握

- ・想定最大規模降雨の見積に基づく、ハザードマップの作成
- ・水防法の改正に基づき、1級河川以外の洪水浸水想定区域(市内13河川)を反映したハザードマップの作成
- ・上記の洪水浸水想定区域内に所在する要配慮者施設の避難確保計画作成に係る協力

○中項目:避難情報・警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

- ・災害対策基本法等の改正をふまえた、紋別市地域防災計画及び各種関係マニュアル等を改正
- ・各種関係マニュアル等
避難情報の発令判断・伝達マニュアル(洪水・高潮・津波)
避難行動要支援者避難支援プラン

○中項目:水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- ・小・中学生に対し、防災(地震・津波・浸水害等)に係る普及を実施



小学校に対する
出前講座
(段ボールベッド
の作成体験)



中学生に対する
出前講座
(Doはぐ(避難所
運営ゲーム)を活
用した、避難所運
営に係る知識の
普及)



■大項目: 迅速かつ確実な避難行動のための取組

○中項目: 水防活動に必要な情報の共有

- ・網走開発建設部管内1級河川水防連絡協議会、湧別川・渚滑川地方部会の合同巡視に参加し、網走開発建設部職員及び紋別市消防署員と合同で、渚滑川右岸築堤河道掘削について現地で確認し、認識の共有を図った。

網走開発建設部からの状況説明



流下能力確保掘削の状況



■迅速かつ確実な避難行動のための取組

- ・町内会を中心とした自主防災組織整備の促進
- ・一斉配信システムの機能拡大(LINE連携)※情報伝達の多重化
- ・関係機関と連携して避難訓練等(地域防災訓練、濁川小学校防災学校、滝上中学校避難訓練等)の実施
- ・紋別地区消防組合滝上消防支署と連携を図り、タイムライン作成を検討



防災学校の実施の様子
(教委・住民生活課の連携)
※写真は受付時の検温



地域防災訓練の様子
(各関係機関の連携)
※各世帯で生活できる部屋タイプの
間仕切りパーテーションを設置



地域防災訓練の様子
(各関係機関の連携)



避難訓練の様子(住民生活課)
※避難及び避難所設営訓練

■迅速かつ確実な水防活動のための取組

- ・水害リスクの高い箇所(河川)について、町職員と消防職員が合同で巡視

■迅速かつ確実な避難行動のための取組

○洪水に対してリスクの高い箇所と避難場所・避難経路の把握

◇円滑な避難行動のため、道路管理者との連絡体制網の構築

- ・共有を図った

○避難情報、警報等をわかりやすく、適切なタイミングで確実に伝達するための取組

◇メール・テレビ・ラジオ・サイレン等、多様な手段を用いた避難情報発信体制の強化及び近隣住民同士での連絡体制等の人的ネットワーク（自主防災組織等）の構築

- ・紋別市と連携し防災訓練の際に避難誘導やサイレン吹鳴等の手順を再確認した
- ・滝上町と連携した取り組みを実施した

◇氾濫発生前に避難行動を促すための情報伝達訓練を実施し、訓練を通じて避難勧告等の発令に着目したタイムラインを改良や多機関が連携したタイムラインの作成（要配慮者も考慮）

- ・タイムライン作成の参考とするために他河川の検討会を傍聴した
- ・滝上町と連携を図り、必要に応じタイムライン作成に参画した

○水害リスク情報の周知や自助防災意識の啓発

- ◇町内会等による住民参加型避難訓練、水防災に関する講習会、ワークショップ、小中学生への防災教育、渚滑川流域のほか、水害特性を踏まえた広報活動を実施する
 - ・水防活動の補助者となる消防団員への防災教育をおこなった

 迅速かつ確実な避難行動のための取組は今後も継続予定

○水防活動の資機材整備

- ◇上流への資機材運搬時間の短縮を図るため、水防資機材の備蓄基地等の配置検討や資機材量及び新技術を活用した資機材導入の検討・配備
 - ・紋別消防団員用にライフジャケット95着、トランシーバー86台を貸与し、今年度発電機・投光器を購入し、消防団庁舎に配備した。
次年度については、発電機・投光機を購入を予定している
 - ・滝上消防団員用に水防活動用胴付き長靴を5着購入した
次年度以降も継続して購入する予定

○水防活動に必要な情報の共有

◇迅速な水防活動を支援するため、水防資機材等の保有状況の情報を共有しておくとともに、定期的な資材の状態点検を行う

- ・ 関係機関と資機材等を点検・確認し、保有情報を共有した

◇毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防関係機関や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う

- ・ 関係機関と共同点検に参加した
- ・ 水害リスクの高い箇所（河川）について、町職員と巡視を実施した

○水防活動体制の強化

◇関係機関が連携した、高速な洪水流による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施

- ・ 滝上支署職員について、水難救助訓練を実施した

◇リーフレットやHPを通じ、水防活動の補助者となる消防団員の募集を行うとともに水防協力団体の募集・指定を促進する

- ・HPやイベントでの消防団員を募集した
- ・協力事業所の指定を行った

⇒ 迅速かつ確実な水防活動のための取組は今後も継続予定

■効率的・効果的な排水活動のための取組

○排水活動の体制強化

◇既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成

- ・排水資機材の整備はしなかった

◇排水ポンプ車等による関係機関同士での排水訓練の実施

- ・排水訓練等が開催されなかったため、訓練の参加ができなかった

⇒ 訓練参加については、次年度以降は参加する予定